

平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		事業コード		担当部課	部課コード	810300	04-2998-9242		
810311		成人のつどい開催事業		社会教育課					
開始年度		昭和 21 年度	終了年度	年度	グループ	社会教育グループ			
事業の概要	事業の種類別	自治事務	法定受託事務	法定受託 + 附加	根拠法令				
	分野別計画・指針	所沢市教育振興基本計画			国民の祝日に関する法律				
	関連・類似事業	公民館主催事業			成人のつどい実行委員会交付金交付要綱				
	総合計画の体系	章	教育・文化・スポーツ	節	社会教育	基本方針	家庭・地域の教育力の向上		
事業開始の背景	昭和21年に蕨町青年団(当時)が、戦後、復員した若者を元気づけ、平和な住みよい町づくりをすすめたいとの思いからはじめたとされており、昭和23年に国民の祝日に関する法律が施行され、おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いほげます日として「成人の日」が定められた。法律の施行を契機として全国的に成人に達した人を祝う式典が広まり、所沢市でも昭和23年から開催された。								
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に) 地域社会の中で新成人の門出を祝福するとともに、成人としての自覚を促し21世紀の担い手としての活躍を期待し、ふるさと所沢への愛着を深めることを目的としている。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	3,520	人			
	平成7年4月2日～平成8年4月1日(平成7年度)に生まれた所沢市民			平成 27 年度	3,494	人			
	事業の具体的な内容及び実施方法 各公民館を中心に行政区ごとに組織された「所沢市 地区成人のつどい実行委員会」による分散方式で実施する。 市内11地区11会場で開催。 式典(各地区共通)と各地区で工夫したパーティ等のつどいを開催。								
経費	会計種別	一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)			
	予算現額			4,401	4,408	4,408			
	決算(見込み含む)			4,339	4,362				
	(非常勤特別職員)	(臨時的任用職員)	(人)	(人)	(人)	(人)	「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。		
	正規職員人件費	0.35 人	3,052	0.25 人	2,165				
	事業費合計		7,391	6,527					
財源内訳	一般財源	7,391	6,527	4,408					
	国・県支出金								
	その他()								
実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標		
	活動実績	出席者	出席者数		2,442	2,426	2,433	2,500	
成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標		
	成果指標	市全体の出席率	出席者/対象者	%	目標値	72	72	72	75
				実績	69	69	<input checked="" type="checkbox"/> 実績 拡大図る <input type="checkbox"/> 実績 縮小図る		
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	96	96	どちらかをチェックしてください		
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)			(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析					
	早い時期から成人式についてのお問い合わせがあるため、市ホームページに掲載する時期を早めた。			毎年、対象者が変わるので、出席率は流動的である。成人式についての更なるPRが必要である。					
評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	事業実施方法(複数選択可)	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小	理由	所沢市の新成人の門出を祝福するとともに、21世紀の担い手としての活躍を期待する、ふるさと所沢への愛着を深めることに資する事業であるため。				
	<input type="checkbox"/> 終了		<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他		上記を達成するためには、必要な予算である。				
評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況			(2)今後の方向性					
	各地区ごとに「つどい」を開催することにより、地域の人たちが新成人を大人として地域に受け入れる式とする。			来年度も各地区の特性を生かして当該事業を実施していく。					
評価日	H28.8.19	評価者職氏名	社会教育課長 安田幸雄						
環境影響	有益な環境影響		有害な環境影響を及ぼす原因活動	資料の作成	規制を受ける環境法令等	無	緊急事態	無	